

図書館《私の使い方》

森 雄大



皆さんは、大学生生活の醍醐味とは何だと思えますか。高校よりも難易度の上がった授業、クラブ、サークル活動、アルバイト等、様々だと思えます。その中で、大学生生活の醍醐味といえば、「一人暮らしを始めること」だと私は考えます。多くの皆さんが京都での一人暮らしを満喫されていることでしょう。私は、主に勉学の用途で利用されることが多い図書館が、「京都での暮らし」に非常に役立つ書物、コンテンツを有している側面がある、という事をここでご紹介したいと思えます。

京都での暮らしについてまず、ご紹介したいのは、「料理に関する書籍」です。多くの方が、初めての一人暮らしにおいて、一番悩むのは、料理ではないでしょうか。料理のいろはがわからず、簡単なインスタント食品ばかり食べてしまい、体調を崩すというのは、ありがちな話だと思います。そんな時、是非ご利用頂きたいのが、附属図書館一階、ビジュアル資料閲覧室、並びに第二閲覧室の一角に置かれている多くの料理本です。料理にまったく疎かった私が、これらの書籍を初めて見た際、「料理初心者のための本」も多く置いてある、ということに気づきました。ただ調理の手順、レシピ等を載せた物だけでなく、野菜の切り方、選び方、味付けの基本など、「いまさら聞けない!」という内容をまとめた書籍も同じように置いてあるので、自分は料理初心者だ、という方には非常に便利なコーナーで

す。このコーナーを利用して、料理の知識を学び、徐々にステップアップしていかれてはどうか。

もうひとつ、皆さんにご紹介したいのは、「京都関係図書コーナー」です。名前だけ聞くと、少し難しいような感じに取れますが、簡単に言いますと、「京都の教科書コーナー」といったところです。私は、せっかくの京都での大学生生活を満喫するために、上記のような「料理のいろは」と同様に、「京都のいろは」も知っておくべきだと考えています。その際に、とても便利になるのがこのコーナーです。ポピュラーである京都の街歩き用の資料を始め、アートや伝統工芸を辿った資料、京都の路地裏のお店、隠れ家的なカフェをまとめた書籍、さらには、京都でのお土産をまとめた書籍など、非常に充実した内容になっています。京都での学生生活を満喫するためにも、是非一度、足を運んでみてください。

今回は、「京都での暮らし」をテーマに、二つのコーナーをピックアップしてご紹介しましたが、この他にも図書館には、ご自身の趣味の幅を広げるための、魅力的な書物が数多くあります。是非、多くの方に図書館をご利用頂き、京都外国語大学附属図書館の魅力を感じて頂きたいと思っております。

もり たけひろ (英米語学科4年次生)

